

ビッグハート BigHeart

第19号
発行 平成26年 5月15日

郡山市字上亀田 1番地の1
024-934-1240
郡山市医療介護病院
広報委員会 発行



巻頭言



院長 原 寿夫

「ユマニチユード」という言葉をご存知でしょうか。新聞やテレビ等でご覧になった方もあるかと思いますが、これはこれはHuman(人)とAttitude(態度)を組み合わせた造語のHumanitude(人間らしく)をフランス語読みしたものです。

認知症の患者さんへの対応について体系的にまとめられたケア方法の一つで、フランスのイブ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏によって考案され、東京医療センターの本田美智子医師によって日本に紹介されました。ユマニチユードでは、一五〇を超えるケアの手法を行うに当たり、次の三段階のどこにあるかを評価し、関係者が共通認識を持つことから始まります。

- 一 回復を目指す
- 二 機能を保つ(悪化しないようにする)
- 三 共にいる(そばに居て、穏かに死を迎える)

そして、ケアの実施に当たっては次の四つを共通の基本的な関わり方としています。

- 一 見つめること
- 二 話しかけること
- 三 触れること
- 四 立つこと

認知症の患者さんを対象に考えられたことですが、当院が平成十八年の開院以来行ってきた、急性期医療を終えた患者さんお一人おひとりの、ご自分の生活スタイルに戻るための支援についても、生かされる方法、考え方であると思います。

生活習慣や宗教的背景等、フランスと日本では様々な考え方や、生き方の違いはあるかと思いますが、私たち医療と介護、福祉の専門家が患者さんやそのご家族と関わる上で大切なことは同じだと思えます。

このような考え方を学び、当院ご利用の方々に還元できるように、職員一同研鑽してきたいと考えています。

また、この六月一日に訪問看護ステーションを当院一階に開所します。在宅療養されている方、これから在宅療養を検討されている方、ぜひご相談ください。宜しくお願致します。

